

水冷スーパーフレックスモジュールチラー
安全上のご注意
電源配線キット組立説明書

RBP-KB702TBW/TBWV (2台連結用)
RBP-KB703TBW/TBWV (3台連結用)
RBP-KB704TBW/TBWV (4台連結用)
RBP-KB705TBW/TBWV (5台連結用)
RBP-KB706TBW/TBWV (6台連結用)

RBP-KB702TBSW/TBSWV (2台連結用)
RBP-KB703TBSW/TBSWV (3台連結用)
RBP-KB704TBSW/TBSWV (4台連結用)
RBP-KB705TBSW/TBSWV (5台連結用)
RBP-KB706TBSW/TBSWV (6台連結用)

- ご使用前に必ずこの「安全上のご注意」・「組立説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、必ず保管してください。

安全上のご注意

1. ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
2. ここに示した注意事項は、「⚠警告」、「⚠注意」に区分していますが、誤った取り扱いをした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性の大きいものを特に「⚠警告」の欄にまとめて記載しています。しかし、「⚠注意」の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

記号の意味

-  **警告** 取り扱いを誤ると、使用者が死亡または重傷を負う危険が想定される場合を示します。
-  **注意** 取り扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合を示します。

本文中の絵表示は、次のような意味を表します。



危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。



禁止の行為であることを告げるものです。



行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。



アース工事が必要なことを告げるものです。

《 I. 使用上の注意事項 》

⚠ 警告

異常時（こげ臭い等）は、運転を停止して電源スイッチを切り、販売店にご連絡ください。



運転禁止

異常のまま運転を続けると故障や感電・火災の原因になります。

パネル類はしっかりと固定してください。



注意

子供が誤ってパネルを開けると、ケガや感電の原因になります。

電源スイッチやブレーカー等の入り切りにより熱源機の運転・停止をしないでください。



禁止

感電や火災の原因になります。

⚠ 注意

濡れた手で作業をしないでください。



禁止

感電の原因となることがあります。

長期使用で据付台等が傷んでないか注意してください。



据付台注意

傷んだ状態で放置すると熱源機の落下につながり、ケガ等の原因になることがあります。

熱源機を水洗いしないでください。



禁止

感電の原因になることがあります。

掃除をする時は必ずスイッチを「停止」にして、電源スイッチも切ってください。



運転停止

感電する恐れがあります。

熱源機の上に乗ったり、物を乗せたりしないでください。



禁止

落下・転倒等によりケガの原因になることがあります。

可燃性スプレーを熱源機の近くに置いたり、熱源機に直接吹きかけたりしないでください。



禁止

発火の原因となることがあります。

蓋を外したままの運転は行なわないでください。



禁止

充電部を露出した状態での運転は、感電や火災の原因となることがあります。

《Ⅱ. 移設・修理等の注意事項》

 警告

修理は、お買上げの販売店にご相談ください。



専門業者に依頼

修理に不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

熱源機を移動再設置する場合は、お買上げの販売店または専門業者にご相談ください。



専門業者に依頼

据付に不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。

改造は絶対に行わないでください。



禁止

水漏れや感電、火災等の原因になります。

屋内や窪地への設置は行わないでください。



注意

空気が滞留がしないよう、換気ができるようにしてください。

 注意

熱源機の上に水の入った容器等を乗せないでください。



禁止

熱源機内部に浸水して電気絶縁劣化し、感電の原因になることがあります。

《Ⅲ.据付上の注意事項》

⚠警告

据付は、販売店または専門業者に依頼してください。



専門業者依頼

ご自分で据付工事をされ不備があると、感電、火災の原因になります。

据付工事は、この取扱説明書にしたがって確実にこなってください。



取説指示

据付に不備があると、感電、火災の原因になります。

台風などの強風や地震に備え、所定の据付工事をこなしてください。



所定の据付工事

据付工事に不備があると、転倒や落下などによる事故の原因になります。

感電を防止するため、通電中に電気作業を行わないでください。



電源停止

作業を行なう場合は、必ず電源を切って作業してください。

電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気工事に関する技術基準」、「内線規定」、および取扱説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。



規定に従い工事

電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。

配線は所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部に外力が伝わらないように確実に固定してください。



配線注意

接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

据付は、重量に十分耐える所に確実にこなしてください。



据付台注意

強度不足や取付が不完全な場合は、熱源機の落下により、ケガの原因になります。

⚠注意

漏電ブレーカの取付が必要です。



漏電ブレーカの取付

漏電ブレーカが取り付けられていないと感電の原因になることがあります。

可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行なわないでください。



禁止

万一ガスが漏れて熱源機の周囲に溜まると、発火の原因になることがあります。

熱源機を特殊な雰囲気（温泉地、海岸地区、油の多い所等）には設置しないでください。



禁止

腐蝕等で感電や火災の原因となることがあります。

電源電線を熱源機間で渡ることは行なわないでください。



禁止

火災の原因になることがあります。

配線用遮断器は、所定の箇所に設置してください。



個々に設置

1個の配線用遮断器に所定の台数以上の熱源機を接続すると火災や感電の原因になることがあります。

モジュール間で作業する場合、長そで・手袋・ヘルメットを着用してください。



注意

ケガの原因になります。

アースを行なってください。

アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線等に接続しないでください。



アース線接続

アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。

作業前確認事項

- ① 別紙電源配線キット梱包リストを参考に部品に誤りがないかご確認ください。
- ② 板金のエッジ等で手などを切らないように長袖作業着や手袋等の保護具着用して作業を行ってください。
- ③ 1～4台連結の時（RBP-KB704TBSW は除く）にターミナルボックスは、スイッチボックスを正面として左右どちらにでも取付けが可能ですので取付け位置を確認の上作業を行ってください。
5, 6台連結時及びRBP-KB704TBSW は左右両側にターミナルボックスの取付けが必要です。

1. ターミナルボックスサポート取付け

ターミナルボックスサポート（図 1-1,1-2）は、ターミナルボックスを取付けるコーナーポストに図 1-3 のようにM6ネジ（付属品）にて取付けます（図 1-3 は左側に取付けた場合）。

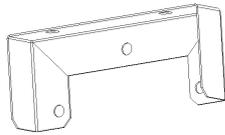


図 1-1 ターミナルボックスサポート A

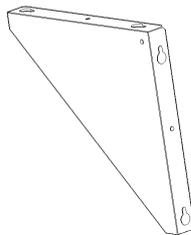


図 1-2 ターミナルボックスサポート B

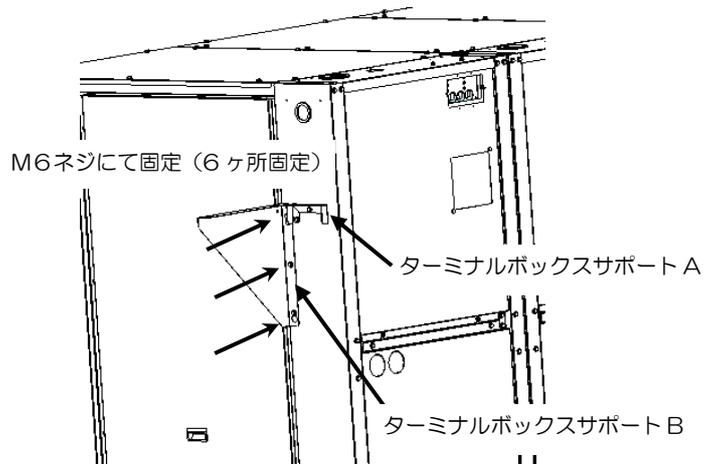


図 1-3 ターミナルボックスサポート取付

2. ターミナルボックス取付け

ターミナルボックスの正面カバーパネル及びアクリル板を取り外します（配線完了後『7.カバー取付け』にて再度取り付けます）。次に『1.ターミナルボックスサポート取付け』で取り付けしたターミナルボックスサポートの上に、鍵穴付のパネルが背面にくるようにターミナルボックスを乗せ、M6ネジ（付属品）にて取付けます。ターミナルボックスサポート側からターミナルボックスへ5ヶ所、ターミナルボックスからコーナーポストへ6ヶ所固定します。

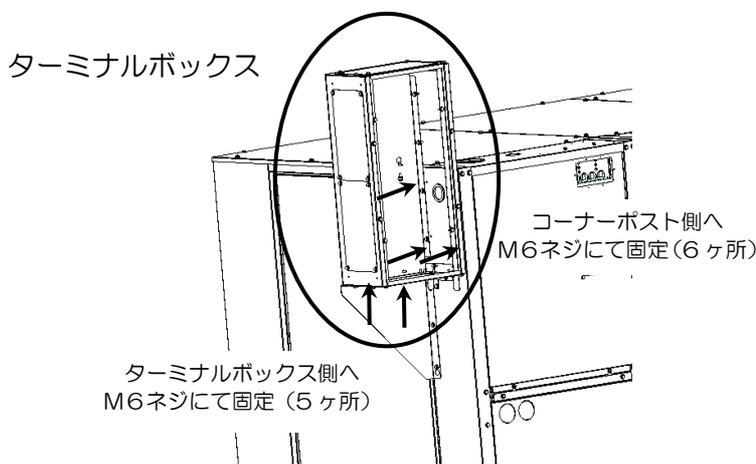


図 2 ターミナルボックス取付

3.ターミナルブロック取付け

- ① ターミナルブロックの端子のついていない背面よりM6ネジ（付属品）を2ヶ所に仮締めします（図3-1 参照）。
- ② 仮締めしたネジがターミナルボックス内の鍵穴にかかるようにターミナルブロックを仮取付けします（図3-2 参照）。
- ③ ターミナルボックス背面より先ほど仮締めしたターミナルボックスのネジを締めます（図3-3 参照）。
- ④ さらにターミナルボックス背面よりM6ネジ（付属品）にて2ヶ所ターミナルブロックを固定します

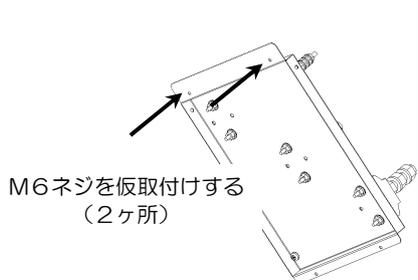


図 3-1 M6ネジ仮取付け

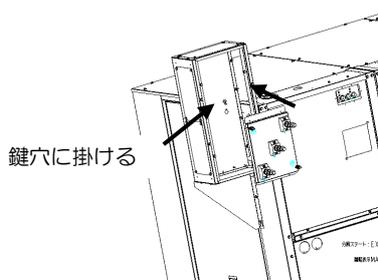


図 3-2 ターミナルブロック仮取付け

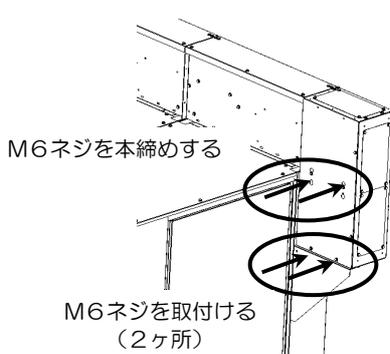


図 3-3 背面より固定

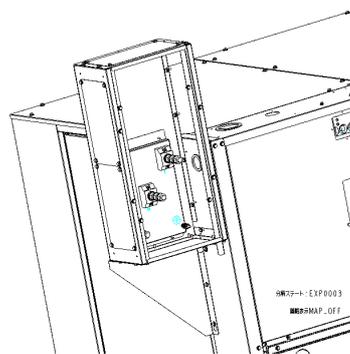


図 3-4 ターミナルブロック取付け

4.配線ダクトボックス取付け

- ① 配線ダクトボックスの正面パネルを取り外します（配線完了後『7.カバー取付け』にて再度取り付けます）。
- ② スイッチボックスの上に図4-1のように配線ダクトボックスを乗せ、M6ネジ（付属品）にてスイッチボックスに1台当たり9ヶ所固定します。
- ③ ターミナルボックスと配線ダクトボックス、及び配線ダクトボックス同士をM6ネジ（付属品）にて固定します。

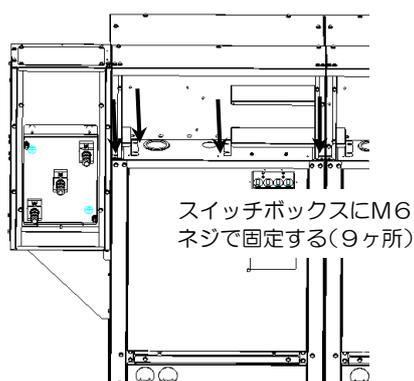


図 4-1 配線ダクトボックス取付け

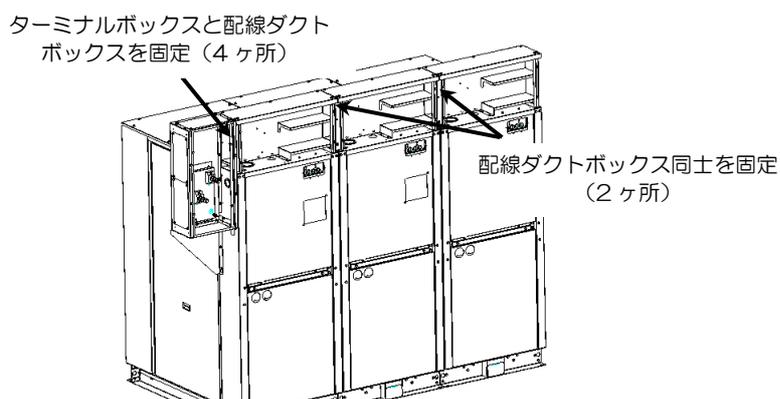


図 4-2 配線ダクトボックス取付け

5.ダクトカバープレート取付け（左右両側にターミナルボックスを取付時は不要）

ターミナルボックスを取付けた側面と逆側の配線ダクトボックス側面にダクトカバープレートを取付けます。図 5-1 のようにM6ネジ（付属品）にて6ヶ所固定します。※カバーの向きに注意（図 5-2 参照）

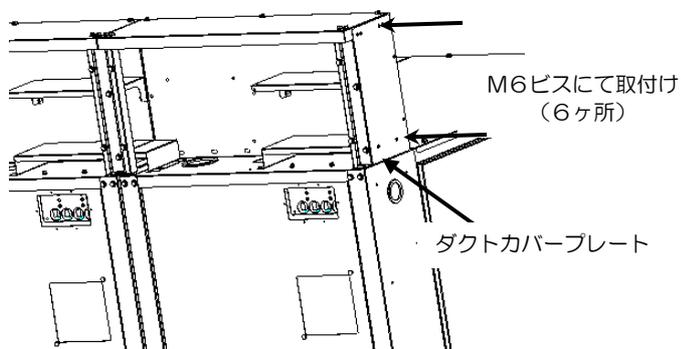


図 5-1 ダクトカバープレート取付け

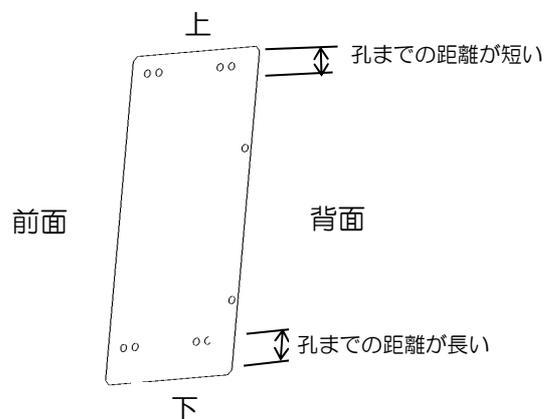


図 5-2 ダクトカバープレート向き

6.配線

6-1. 分岐ケーブル（付属品）及びアース線（付属品）の配線

① スイッチボックスカバーを取り外します（配線完了後『7.カバー取付け』にて再度取り付けます）。

② 2台連結及びRBP-KB704TBSWの時

分岐ケーブル（付属品）は各モジュールの電源配線用孔に通しておきターミナルボックスから各モジュールのサーキットブレーカまで届く長さを決定し、余分な部分は切断します。

（注意） RBP-KB704TBSWの時にはもう一方のターミナルボックスについても同様に作業してください。

3、5、6台連結時

2本カシメされている分岐ケーブルはターミナルボックスから1、2台目に接続します。1本カシメの分岐ケーブルはターミナルボックスから3台目のユニットに接続します。これらの分岐ケーブル（付属品）は各モジュールの電源配線用孔に通しておきターミナルボックスから各モジュールのサーキットブレーカまで届く長さを決定し、余分な部分は切断します。

（注意） 5、6台連結時にはもう一方のターミナルボックスについても同様に作業してください。

4台連結時（RBP-KB704TBSWは除く）

2本カシメされている分岐ケーブルが2種類付属されております。短い方をターミナルボックスから1、2台目に接続します。長い方をターミナルボックスから3、4台目のユニットに接続します。これらの分岐ケーブル（付属品）は各モジュールの電源配線用孔に通しておきターミナルボックスから各モジュールのサーキットブレーカまで届く長さを決定し、余分な部分は切断します。

③ ②で切断した分岐ケーブルの末端にスリーブ（付属品）及びターミナル（付属品）を取付けて、ターミナルボックスのR、S、T相ターミナル及び各モジュールのサーキットブレーカR、S、T相ターミナルへ接続します（スリーブ色はR：赤、S：白、T：青）。

④ アース線（付属品）はターミナルボックス内アースターミナルから各モジュールのスイッチボックス内アースターミナルに接続します。

（注意） 分岐ケーブル及びアース線は、モジュールの電源配線用孔に通す際に損傷しないよう、分岐ケーブル及びアース線を保護してください。

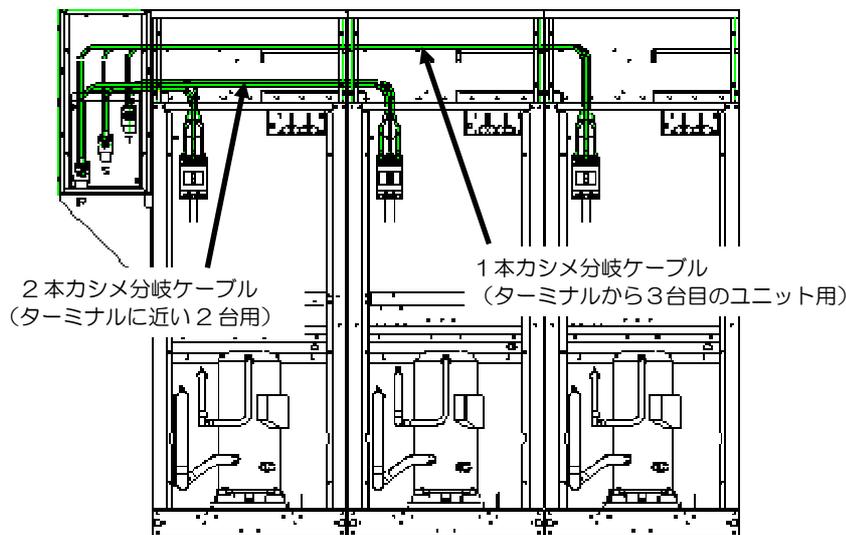
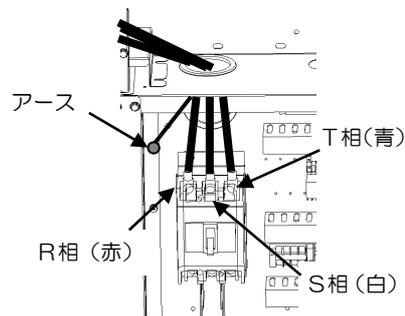


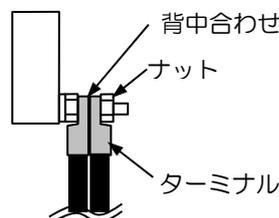
図 6-1 分岐ケーブル接続（3台連結左側取付け）

サーキットブレーカへの接続



ケーブル2本固定の場合

下図に示すように、ターミナルの長い部分を背中合わせにして、ナットで固定してください。



6-2. 主電源電線（現地手配）及びアース線（現地手配）の配線

- ① 主電源線を引き込むためにターミナルボックスに主電源電線を通せる（電線管を接続できる）
適当な穴を開けます（現地加工）。※板金は取り外し可能となっておりますので取り外して穴加工をお願いします。もし取り外さずに孔加工を行う場合は切子等がターミナル BOX 内に入らないように確実に養生をお願いします。
 - ② 主電源電線を主電源電線通過孔に通し、ターミナルボックスの R、S、T 相ターミナルまで届く長さを決定し、主電源電線を切断します。
 - ③ ②で切断した主電源電線の末端に、スリーブ（現地手配）及びターミナル（現地手配）を取付けて、ターミナルボックスの R、S、T 相ターミナルへ接続します。
(スリーブ色は R：赤、S：白、T：青)
 - ④ ②と同様に、アース線を主電源電線通過孔に通し、ターミナルボックスのアースターミナルまで届く長さを決定し、アース線を切断します。
 - ⑤ ④で切断したアース線にターミナル（現地手配）を取付け、ターミナルボックスのアースターミナルへ接続します。
- (注意) 主電源電線及びアース線は、電線通過孔に通す際に損傷しないよう、
主電源電線及びアース線を保護してください。

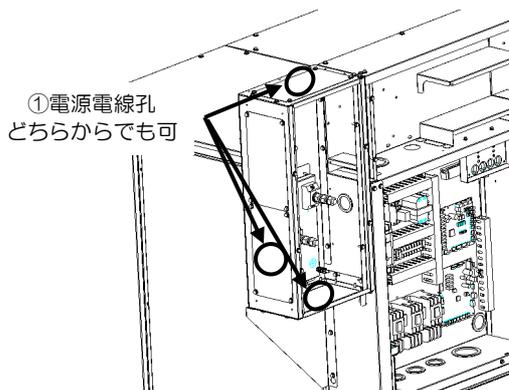


図 6-2 主電源電線通過孔

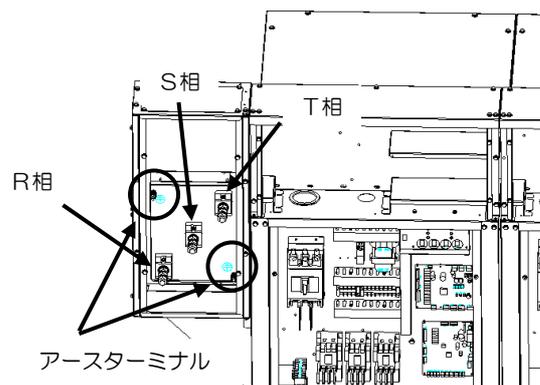


図 6-3 主電源線及びアース線接続

7. カバー取付け

2. ターミナルボックス取付け、4. 配線ダクトボックス取付け及び 6-1. 分岐ケーブル及びアース線の配線で取り外したパネルを取付けます。

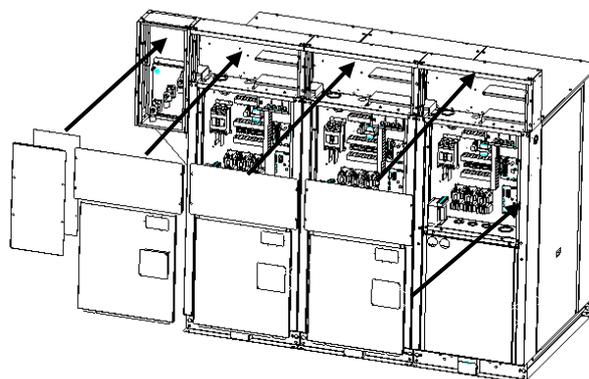


図 7-1 カバー取付け



日本キャリア株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎 1-11-1 ゲートシティ大崎ウエストタワー7 階

●この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。またアフターサービスもできません。

This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

●この説明書は令和6年5月現在のものです。●この説明書に掲載の仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。